

令和元年 6月 定例会

会期/
6月5日～27日 23日間

定例会でこんなことが決まりました!!

定例会で審議した案件

市長提出案件

同意案件 **7**件 契約の締結 **3**件

条例制定・改正 **9**件 補正予算 **1**件

委員会提出案件

意見書の提出 **1**件

合計 **21**件

●賛否が分かれた議案

議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
議員名		楠 明廣	船引 宗俊	堀 讓	宗貫 雅典	肥塚 康子	木南 裕樹	柏原 要	野本 利明	松本 良三	赤木 和雄	和田 美奈	高岸 博之	松下 信一郎	内匠 勇人	柳生 陽一	桑野 元澄	三木 浩一	永富 靖	角田 勝	名村 嘉洋	畑山 剛一	横田 勉
議案の名称		議案の説明																					
議案の名称		議案の説明																					
条例	たつの市下水道条例等の一部を改正する条例制定について	4Pのとおり	可	議	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

- 議決結果欄の意味はそれぞれ次のとおり 可決
- 採決結果欄の意味はそれぞれ次のとおり 賛成 反対 議 議長のため、採決には加わりません。



下水道料金が改定されます

下水道事業、農業集落排水事業について、地方公営企業法を適用させるため、十数年かけて段階的に料金を改正し、基準外繰入金を解消しようとして、下水道条例等を一部改正しました。

Q 今回の料金改定により、経費回収率は何%になるのか。

A 下水道事業では、現在は48%であるが、料金改定により令和2年では52%になる。

Q 経費回収率を100%にするには、今後も段階的な料金の改定が必要であるが、料金改定の間隔はどのようになるのか。

A 今後の人口減少による料金収入の減少、維持管理「コスト」の増加、起債の償還額等の要因から試算し、今回を含め4回の改定で、令和14年に経費回収率が100%となる。今後は、様々な要因や近隣とのバランス等を考慮しながら3～5年ごとに検討したい。

Q 下水道普及率が100%ではない中、料金改定は不公平ではないか。

A 未接続世帯に対する下水道への接続啓発は、平成26年度から5年間で2400世帯を対象に行い、未接続世帯は現在2100世帯まで減少している。今後も啓発を続け、理解を得たい。

Q 令和2年度に特別会計から企業会計へ移行できなかった場合、問題はないのか。

A 企業会計に移行しない場合、交付税への影響は未定であるが、施設の改築、更新等に対し、国からの補助金が制約される。

Q 農業集落排水の経営計画はホームページで掲載されているが、下水道の経営計画についても市民や議会に提示し、説明すべきではないか。

A 企業会計への移行前と移行後では経費回収率の考え方が異なるため、企業会計への移行と同時に経営戦略を作成し提示する。毎年不足額9億円を基準外繰入しているが、これを2億円削減し、一般会計において他の行政サービスに活用したい。

賛成討論 good!!

下水道会計の特定財源が増え、一般会計からの繰入が減少すれば、減った2億円を他の行政サービスに活用できる。

反対討論 no good...

下水道料金の値上げは住民負担の増加になる。公共福祉サービスの一環として、一般会計からの繰入をしながら公的運営を行っていくべき。